

R o H S Compliant Cd ≦75ppm  
 REMARKS BRASS: Cd ≦75ppm  
 PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

					尺度	2/1	製図	検図	承認	確認	品名
5	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni			石	檜	山	三	SJ-3A
4	中心コンタクト	リン青銅	1	Au			'19.02.06	'19.02.06	'19.02.06	'19.02.06	
3	ホルダー	黄銅	1	Ni		単位	川	澤	本	村	
2	絶縁体	テフロン	1	--		mm					
1	シェル	黄銅	1	Ni		日付					
番号	部品名	材質	数量	処理	備考	2019.02.06	投影法				図番
											I-0525390

# 仕 様 書

品 名 SJ-3A S型ジャックコネクター

No. 0522096

図 番 I-0525390

定 格 1 参考規格

NTT仕2063号(S形)

JIS C5411(N形)

JIS C5410

(高周波同軸コネクタ通則)

2 定格電圧

AC 500V

3 公称インピーダンス

50Ω

4 周波数範囲

DC~3.2GHz

5 使用温度範囲

-40℃~+85℃



株式会社

**トーコネ**

TO-CONNE CO.,LTD.

項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す (図番 I-0525390)	異常のないこと
	材 質		
	仕上げ及び表示		
4 5 6 7	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は 直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
	電圧定在波比	周波数帯域 DC~3.2GHzまで	1.2以下
8 9 10	互換性	規格に準ずるコネクターと結合したとき	異常なく結合すること
	ケーブル接続強度	軸方向引張力 98N以上	異常のないこと
	結合部接続強度	軸方向引張力 300Nを加えたとき	ねじ部に変形などの 異常のないこと
11	適合ケーブル	3D-2V	
12			

変更履歴		日付
1		
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
 三 19.02.06 村	 山 19.02.06 本	 檜 19.02.06 澤	 石 19.02.06 川

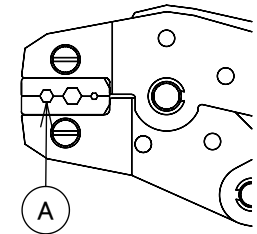
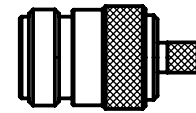
GKQM-7

# SJ-3A 取付仕様書

適合ケーブル 3D-2V

部品構成

専用圧着工具  
TA-34(本体表示:DCC 1113)  
TA-35(本体表示:53-8242)



シェル

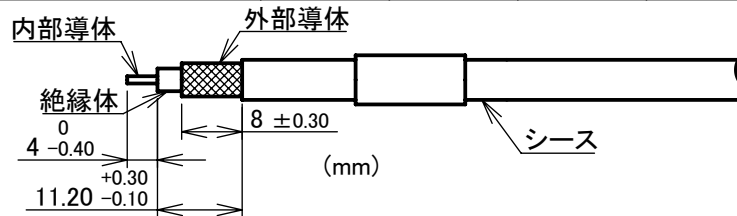
中心コンタクト

圧着スリーブ

図番 I-0515390



製図	検図	承認	確認
石川	檜澤	山本	三村
'19.02.13	'19.02.13	'19.02.13	'19.02.13



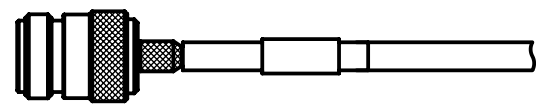
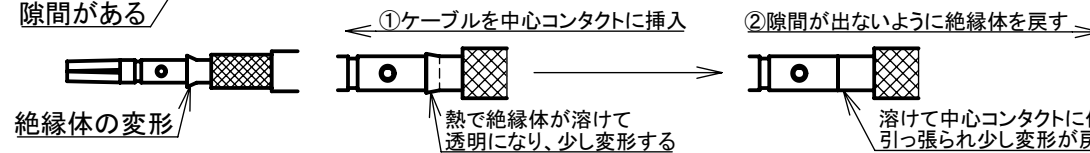
1 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、外部導体、絶縁体を図中の寸法で切りとる。



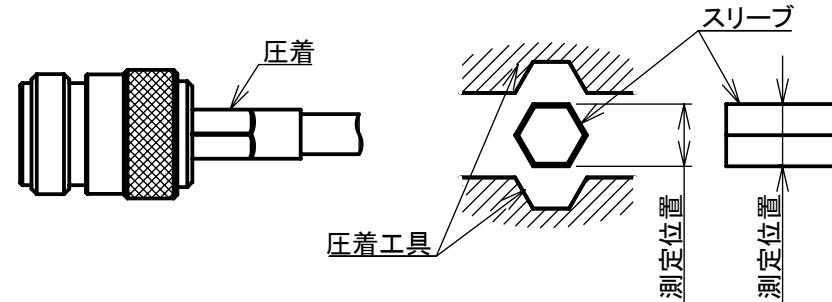
NG 隙間がある

ケーブル絶縁体(PE)は大変熱で変形しやすい材質です。隙間及び変形しないコツとしては、ケーブル絶縁体が中心コンタクトに触れる際、絶縁体が熱で透明になりますので、溶けた絶縁体に中心コンタクトを軽く押し当てて、隙間が出ないようにケーブルを戻すと変形が少なく、隙間も出辛くなります。

2 中心コンタクトを内部導体に装着し、ハンダ付けをする。  
注意: 1.ハンダが盛り上がらないこと。  
2.中心コンタクトと絶縁体の隙間がないこと。  
3.ハンダ付け後、中心コンタクトを引張り抜けないか確認すること。  
4.ケーブル絶縁体の変形がないこと。



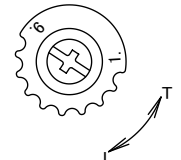
3 シェルを同軸ケーブルの絶縁体と外部導体の間に装着する。(この時プチンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



4 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整ダイヤルを設定して下さい。

測定位置でのクリンプハイト5.8~6.1mm

強度調整ダイヤル



◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。